

第4回大島町地域公共交通活性化協議会会議結果（要旨）

| | |
|----------|---|
| 会 議 名 | 第4回大島町地域公共交通活性化協議会 |
| 開 催 日 時 | 令和5年12月8日（金）午後1時30分から午後2時45分まで |
| 開 催 場 所 | 大島町開発総合センター1階 大会議室 |
| 開 催 方 法 | オンサイト、Web会議システムを利用したオンライン会議によるハイブリット形式 |
| 委員出席等 | 木中会長、長野職務代理、柴田委員、岡田委員、堀江委員、鈴木委員（代理：染谷氏）、下村委員、藤田委員、吉澤委員、鈴木委員、宮本委員、岡山委員、辻委員、平野委員、山本委員、稲葉委員、川島委員、妹尾委員、米澤委員 |
| 事務局出席者 | 船木事務局長、中村事務局員、秋田事務局員 |
| 議事・報告 | <p>【議事】</p> <p>(1) 大島町地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正について</p> <p>(2) 大島町地域公共交通計画(素案)について</p> |
| 会 議 資 料 | 別添のとおり |
| 会 議 結 果 | <p>【議事】</p> <p>(1) 大島町地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より資料説明を行った。 <p>(2) 大島町地域公共交通計画(素案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より資料説明を行った。 ・各委員との意見交換を行った。 |
| 出された主な意見 | <p>・大きく2点検討いただきたい。過不足なく情報を出してくれたという認識である。一方で、上位計画との関連は確認したほうがよい。例えば31頁で将来像の記載があるが、基本構想の将来像と地域公共交通計画の将来像をリンクさせるのがよいのではないか。</p> <p>2点目は54～57頁の事業の内容で、随時実施との記載があるが、もう少し踏み込んでも良いのではないか。例えば「○回程度実施する」等を明記することで、政策の評価にもつながる。その際は事業者との協力も必要なので、提案をしていただきたい。</p> <p>また、エコツーリズムの話についても、現時点でどのような評価ができるのかも考えておく必要があるのではないか。</p> <p>PDCAサイクルについても絵だけかいても仕方ないので、実施年数の明記やフレームワークを明記した方が良いのではないか。明記できなくても、事務局で考えておい</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>て持つておくことが必要だと思ふ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が減少しているため、収支改善は難しい問題である。島全体で盛り上げ、バスの乗客を増やすだけでなく島に来てもらう人を増やすことが重要ではないかと考える。 ・収支改善について、合理的な運行によって改善が図られる数字として金額が記載してあると認識している。本計画に示されているルート変更・ダイヤ変更等によって目標の収支改善が図られるのかが判断しづらい部分がある。 ・地域交通法について改正があり、関係者間の連携について努力義務ではあるが記載することとなっている。計画素案をみると事業者間連携の記載はあるが、可能な範囲で自治体と地元住民で連携していくことを盛り込んでいくことができればよいと思ふ。 ・乗り方教室も大事だと思ふが、そもそものバスやタクシーの運転手や船や飛行機の操縦士等がどのような仕事をしているのかを、学校の授業等で知ってもらふと良いと思ふ。 ・ハロウィンバスで臨時便を出したところ保育園に大好評だった。今後はクリスマスバスを運行する予定である。弊社ではこのような取組をしているので、皆さんにも是非PRしてほしい。 ・32 頁で高速ジェット船や大型旅客船に時期の仕切り線がないのは問題ないか。地域間交通だけ繁忙期と閑散期の仕切り線がないことが気になる。 ・高速ジェット船は年間切れ目なく運行しており、客船も運行していない時期が短いながらあるものの、閑散期含めて運行している状況である。そのため、繁忙期・閑散期で分けておかなくても問題ないかとは考えている。 <p>→以上の内容は、持ち帰って検討したい。キャッシュレスの利用状況について各社から情報提供をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果について、数字では出せていない。利用している人が多いと実感としている。当初想定よりも利用する人が多いと感じている。 ・11 月から始めたが、売り上げの 25% くらいを占めている。島民の方の利用も増えている状況である。先週のイベント（伊豆大島マラソン）の時が最も多く、100 件程度の利用があった。時間がかからないため乗り降りがスムーズになっていると感じる。感覚的にはなるが、若い人、高校生の利用が多いと感じる。 ・前回の協議会でお伝えした電動キックボードに関しては、補助金が不採となってしまったが、今後も実施に向けて調整をする予定である。 |
| 問い合わせ先 | 事務局 大島町政策推進課振興企画係 04992-2-1444 |